

まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり

VOL.21

合併協議会
いよいよ

ちよまつ ひろやす

泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (30歳)



泉佐野市発展のために!!

2004年のスタートにあたり泉佐野市民のみなさまにおかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も千代松大耕は泉佐野市発展のために全力で市政にのぞみます。早いもので初めて立候補いたしました補欠選挙から4年が経とうとしています。2年

実現に向けて積極果敢に取り組んでいきます。これからも多くの方々から夢と希望を託していただける議員となれるように、まちづくりに対する熱い思いを一層発揮して活動を続けてまいりますので、どうか変わらぬご支援、そしてご期待を賜りたくお願い申し上げます。

前の通常選挙で2期目の信託をいただきましたが、政治の世界では4年で一区切りであると考えます。この4年間を振り返ってみますと、議員としてはまだまだ未熟ですが、市長を支える与党の議員としては異例の毎議会質問(表1)という自分なりのスタイルで議会にのぞみ、また「まちのスケッチブック」を通じて議員としての説明責任を果たしてきたと思うところであります。選挙で掲げました重点政策目標は道半ばのものがありますが、(今年中にまちのスケッチブックで自己採点したものを掲載いたします)それらについても

12月議会



共産党、革新無所属の
意見書に反対!



12月議会最終日の18日(木)に泉佐野市議会では「イラクへの自衛隊派遣について慎重な対応を求める意見書」(賛成15・反対7)が採択されました。この意見書は日本共産党と革新無所属がそれぞれ「イラクへの自衛隊派遣計画の中止を求める意見書」と「自衛隊のイラク派遣とイラク復興資金支出に反対する意見書」という自衛隊派遣には反対の意見書を提出していたものを共同で修正して、自衛隊派遣は認めるが

政府の慎重な対応をという全く内容の違ったものを提出してきたのです。昨年末に政界の一大争点となったイラクへの復興支援については、様々な見解があります。日本は憲法第9条によって戦争を放棄しております。そして日本は日本独自で安全を確保していくのではなく、日米安保条約を締結して、日本の平和と独立を守り、同時に国際社会と協力して世界の平和維持に貢献していくというスタ

千代松大耕 2003年 全議会質問 (表1)

3月議会 (会派代表質問)	6月議会 (会派代表質問)
<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併について ・教育の振興について ・産業の振興について ・都市基盤の整備について ・情報化について ・まちづくりについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道について ・住民自治について ・市営住宅について
9月議会 (会派代表質問)	12月議会 (会派代表質問)
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が積極的に参加できるまちづくりについて ・りんくうタウンについて ・市立泉佐野病院について ・市役所内について 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育について ・泉佐野市における雇用対策について ・泉佐野市の人権行政について



JR日根野駅にて市政報告

千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University
MBA Program 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了

- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選



ンスを戦後一貫してとってきた。今回のイラクへの自衛隊派遣はもちろん、戦争に行くわけではなく、現地でイラク人が切望している給水や医療、道路や橋や下水道の復旧、病院や学校の修理、食料や衣服、医薬品や子どもたちの勉強道具など生活物資の輸送など、人道支援をするために行くのであります。日本もかつては多くの国から援助を受けて今日の経済大国になりました。今や日本とアメリカの2カ国で世界のGDPの4割を占めています。国際社会と協力しながら、イラクが必要としている支援をできる限り行い、イラクに安定して民主的な政権が成立することが、日本の国家利益にかなうと考えます。現在のイラクでは、治安維持活動の中心的な役割を果たしている米英軍以外に、約40カ国が軍隊を派遣、もしくは派遣することを決定しています。こうした各支援国が「テロに屈しない」という姿勢を強く打ち出している中であって、日本も国際社会の一員として、積

極的な人道支援を行うべきであり、そのための自衛隊派遣と考えます。自衛隊創設以来、心ない批判を浴びることがあっても厳しい訓練に耐えて自らの任務を遂行しようとして来ている自衛隊員の方々は、わが国の誇りであり、派遣される自衛隊員の安全確保と効果的な任務遂行のために、政府はありとあらゆる角度から調査をして、派遣地域を選定いたしました。また自由民主党の小泉総裁は、記者会見、テレビ、国会審議においても、イラクの復興支援のための自衛隊派遣の必要性を十分に説明しております。政府・与党のこのような対応に対して未だ慎重論を唱える人間というのは、元来から自衛隊の派遣には否定的で理解をしようとしないう人間、もしくは自衛隊の存在さえ認めようとしないう人間であります。私が所属する自由民主党泉佐野市会議員団はそういった観点から、日本共産党、革新無所属の提出した意見書には反対しました。

泉州南合併協議会スケジュール

(表2)

第3回協議会	第4回協議会	第5回協議会	第6回協議会
2月2日(月) 午後2時～ 阪南市立文化センター	3月1日(月) 午後2時～ 田尻町立公民館	4月1日(木) 午後2時～ 岬町立体育館	4月21日(水) 午後2時～ 泉南市総合福祉センター
第7回協議会	第8回協議会	第9回協議会	第10回協議会
5月7日(金) 午後2時～ 泉南市総合福祉センター	5月19日(水) 午後2時～ 岬町立体育館	6月1日(火) 午後2時～ 泉の森ホール	7月2日(金) 午後2時～ 阪南市立文化センター
第11回協議会	第12回協議会	第13回協議会	第14回協議会
8月2日(月) 午後2時～ 田尻町立公民館	9月1日(月) 午後2時～ 泉の森ホール	10月1日(金) 午後2時～ 岬町立体育館	11月1日(月) 午後2時～ 泉南市総合福祉センター
第15回協議会	以降未定	*7月の参議院選挙時に田尻町、阪南市、岬町が住民投票をする予定です。	
12月1日(水) 午後2時～ 阪南市立文化センター			

*合併協議会は傍聴できます。会議開始の30分前より受付開始です。

泉州南合併協議会

12月1日に第1回合併協議会、1月8日に第2回合併協議会が開催されました。今後1ヶ月に1回もしくは2回のペース(表2)で合併協議会が開かれます。いよいよ合併の協議が本格化してきました。合併に関してのご意見・ご要望をお待ちしております。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31
TEL 58-1708
FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール chiyoma51@hotmail.com
発行部数累計 331,000部 2004.1第21号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。